

平成30年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会

報告書



日時	平成30年9月20日（木） 午後6時30分～8時30分	
場所	麻町児童センター	
参加者数	27人	
市側出席者	市長 副市長 教育長 総務部長 市民生活部長 保健福祉部長 経済部長 建設水道部長 ぶどう果樹研究所長 企画振興課長 財政課長 財政課主幹	北 猛俊 石井 隆 近内 栄一 稲葉 武則 山下 俊明 若杉 勝博 後藤 正紀 吉田 育夫 川上 勝義 西野 成紀 藤野 秀光 高田 敦子

【市長 開会のあいさつ】

仕事の終わったお疲れのなか、ご参集をいただきお礼を申し上げます。9月6日に発生した地震では、市民のみなさんにも節電のご協力をいただいておりますが、昨日から復興支援のために市職員をむかわ町へ派遣しているところです。被害を受けた方、お亡くなりになられた方には心からお見舞いとご冥福を申し上げます。富良野市におきましても、一日も早い日常生活が回復できるように願っているところです。

今年の春の選挙で市民のみなさんの信託をいただき、市長の席に就かせていただき、早くも4カ月が経っております。議会も2回目ということで、昨日から一般質問が行われ今日が2日目であります。今日の懇談会にも何人かの議員のみなさんが出席いただいておりますが、貴重なご提言をいただいております。そうしたことを、市政のなかに反映しながら市民の幸せと健康なまちづくりにつなげる取り組みにしていきたいと考えています。

富良野市が当面解決をしなければならない課題としまして「JRの問題」「市庁舎の問題」「地域医療の問題」の3点を選挙のときにもあげさせていただきましたが、今日は、JRと市庁舎のこれまでの取り組みの内容と経過をご説明させていただき、みなさまからご意見をいただきながら、富良野市としてどうあるべきかの判断につなげていければと思っています。また、麻町地域の抱える課題についてもご意見を伺い、まちづくりにつなげていきたいと思っています。

日ごろから行政運営につきまして、ご尽力をいただき、ご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。短い時間ではありますが、有意義な私たちのなかで意見交換をさせていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 鉄路のあり方

【ご意見】

- 市の考え方は、たった3つしかないのか。もっと外にあるのではないか。市長の考えをこの資料に書いて欲しい。
- 今日ここに集まっている人の中で、旭川-富良野間、根室本線を使用してる人がいるのか。市の職員に積極的に旭川-富良野線や根室本線を使用するように指導されているのか。
- この場にJR北海道の人を呼んで話を聞きたい。また、富良野で働いているJR北海道の職員に話を聞いたことがあるか。
- 富良野駅は富良野市のシンボル。その駅が小さくなる危機感がある。市で頑張ってもらい、さみしい富良野駅ではなく、もっと人が集まる駅にして欲しい。
- 美瑛から旭川に行く人が多いから富良野線が残っている。富良野から旭川に通っている人も結構いるが、みんな車を使っていて、朝の時間帯でもJRの利用者は7人くらいしかいない。そのような状況を知っているのか。
- 貨物列車がなくなったときに、トラックの運転手は足りるのか。

【市の回答・対応方針】

- 市職員の出張については、南富良野町の災害で一部通れなくなる前まではJRを利用していました。根室本線対策会協議会では、乗車を増やしてJRを存続するひとつの手法として「乗って守ろう根室本線」という取り組みをしています。市民のみなさんにも協力をいただいております。し

かし、そうした努力も1,000万円から2,000万円程度した報われなことから、抜本的な改善を求めて国と交渉を続けています。

- 基本姿勢としては国が全額負担して、JR北海道の再建に向けた支援を求めているところです。今年の8月ごろ、国が2年間にわたって400億円を支出すると支援の方針が示されました。そのなかで、路線維持に向けて、どの程度地元負担を求めめるのか。どのような形で求められるのかということが今後の協議の中心になってきます。今後、その負担について明確な根拠が示されたときには、自治体が全額負担するのか。あるいは財政措置で国が一部を負担するのか。そうした協議が今後進んでいくと考えられます。
- 資料のなかで、考え方が3つしかないということですが、基本的には「旅客の部分」「貨物の部分」「観光客の利用」のうち、現在のところJRの求める基準値の2,000名には達していない状況です。それに向けて努力をしていかなければなりません。根室本線については、現在は観光客の利用が多くはありませんが、将来的には、十勝から富良野、富良野から旭川方面というように、広域型の循環連携ができるのではないかとこの次の展望の可能性も考えています。全体で考えて富良野線や根室本線の維持のため、自治体が相応の負担をしてでも残していきたいと考えています。
- 働いている人からの話も聞いています。JR北海道の職員は地元で採用されている人が多いため、ここに残りたい、残したいという人もいます。直接訪れて、残せるように一緒に頑張ろうといわれる方もいます。
- 現在の貨物列車をトラックに全部移すことは不可能だと言われている。そのことも含めてJR存続の協議をしています。

2. 富良野市新庁舎建設

【ご意見】

- 業務継続計画（BCP）こんな用語が理解できるのか。パブリックコメントなども含めて、もっとわかり易い内容にしてほしい。
- 本当に58億円が最高限度なのか。
- 検討委員会は21人だが、できるだけ若い人に考えてもらいたい。
- 基本構想では市庁舎に文化会館やいろんな機能をつけているが、市役所本庁だけは災害対応として必要なので、市役所本庁を優先して建設してほしい。文化会館は後回しにできないか。

【市の回答・対応方針】

- わかりやすい言葉で書くようにしていきたいと思います。
- 市庁舎建設に向けていろんな方々の話を聞いて、庁舎をどのようにつくっていけば市民のみなさんに満足していただけるのか、そのことで汗を流していきたいと思っています。

3. 麻町児童センターについて

【ご意見】

- 地域のコミセンとして麻町児童センターを使っている。サロンや老人クラブ、町内会など使用頻度も高い。公営住宅を整備したあとに麻町児童センターを合理化すると聞いた。今後、麻町児童センターはどういう位置づけになるのか。現時点での市の考え方を教えて欲しい。

【市の回答・対応方針】

- 市の総合管理計画では、麻町児童センターの施設の合理化は全くありません。
- 麻町児童センターの今後のことは何も決まっていません。具体的に建て替えの話が出た段階で、施設のあり方について、地域の皆さんと話をしながらすすめていきたいと思えます。
- 麻町児童センターの施設整備は、地域の方々と話し合っ決めていきます。

4. 人材開発センター敷地内の障害福祉施設建設について

【ご意見】

- 昨年の今ごろ、人材開発センターの敷地内に障害福祉施設ができると説明があった。町内会で声をかけ和室に入りきらない人数が集まった。当時の説明でいくと既に着工しているはずだが、何も行われていない。建設予定地の向かいの住民は、本当に心配している。計画がどうなっているのか、何も説明がない。今、どうなっているのか明確な返答をしてほしい。
- 説明会のあと、麻町の人たちは理解を示し、みんなでやっいてこうと考えていた。計画が遅れていることを教えてくれないのはおかしい。道と市の話が決まってから地域に説明するべきではないか。説明会に集まって議論したことは何だったのか。計画が実施される際には、再度、人を集めて説明会をするのか。
- 前回の説明会で結論がでていない。「除雪の問題」「通学と通勤の時間帯重なる交通指導の問題」「ごみの問題」の3つは持ち帰っている。次の説明会では、そのことを回答してほしい。

【市の回答・対応方針】

- 昨年度、市とあさひ郷で説明会を開催しましたが、国に申請していた補助事業が採択にならず、計画が延期となっています。補助事業は継続中で30年度も申請中です。平成31年3月頃に国の内示が出るのを待っている段階です。経過を報告させていただき、地域の要望についても再度、意見交換をさせていただきたいと思えます。

5. 除排雪と道路について

【ご意見】

- T字路から東中を回った道路が凸凹でまったく整備されない。

- 東中学校の前の車道の舗装がひどい、40センチくらいの大きな穴があいている。ひどく凹んでいる道路がある。10センチくらいマンホールが凹んでいる場所がある。
- 排雪されずに危険な場所がある。

【市の回答・対応方針】

- 以前から要望されていることは認識していますが、市内にはほかにも老朽している道路があり、計画的に整備をしています。麻町は排水の整備は進んできましたが、道路の整備はまだ進んでいない状況です。老朽度をみながらできる限り整備を進めていきたいと思えます。
- 今日出された道路や除排雪の要望箇所は早急に現地確認し対応します。

6. 防災体制について

【ご意見】

- 今回の災害で、JR旭川ー富良野間は、美瑛ー旭川間は走っていたが、富良野ー美瑛間は止まっていた。旭川まで行きたいときは、美瑛までバスで行けばJRに乗り換えて行けるということをして駅に電話をして確認するより、市として周知する方法はなかったのか。観光客や一般利用者に対して市として周知しないのか。FMラジオふらのでは、決まった時間に市の行政情報を放送しているが、今回の地震のときには何も放送されていない。ホームページを見られない人に対して情報が無い。そういうときにFMラジオふらので放送できないのか。
- 今年は洪水警報が何回か出ているが、テレビで富良野市の東町で避難判断水位を越えたと放送された。この時、市として何も周知がされなかった。市の広報車もないし、FMラジオふらのでも放送されない。ホームページを見られない人に対して何か周知の方法はないのか。市の広報車が来なければ大丈夫だというのが、テレビで避難勧告が出たら不安になる。心配がないのであれば、そういう情報も流してほしい。

【市の回答・対応方針】

- 停電によりJRの旭川ー富良野間は、9月6日から11日まで不通となりました。この間、JR北海道から通学者の救済措置として、富良野ー美瑛間は道北バスに委託をしてバスを運行しました。観光客は通常運行していたバスの利用で対応できています。
- FMラジオふらのとは、市と防災協定により9月6日の地震発生時から富良野の状況を流していましたが、JRの運行状況は放送できていませんでした。
- 避難勧告や避難指示が出た場合には、FMラジオふらの、安全安心メール、市の広報車で周知し、町内会長や民生委員の方々に協力をいただくこととなります。要支援者については、直接電話をして避難の支持を行い、状況によっては直接訪問し避難させることもあります。
- テレビで誤った避難判断水位を越えたという情報が流れた件ですが、現在、布部大橋付近に設置されている水位を計測する方法の改善を開発局に要求しているところです。FMラジオふらのの放送については、いつ防災情報が流れるのかわからないとの指摘もあり、防災の放送時間を決めてわかりやすくします。

7. 市職員の資質について

【ご意見】

- クールビズはよく分かるが黄色や緑色など、いろんな色があつて派手すぎないか。シャツの色は白色を基調にしてはどうか。
- 市の職員のなかにも一生懸命やってくれる人もいる。土日などの休日に関わらず、自らパトロールをしてくれる職員もいる。その反面、椅子に座ったままで、通報があつたら見に行くが、自ら探しにいかない。自分の部署じゃないから関係ない。通報がないものは自分の部署でも関係ない。という職員もいる。

【市の回答・対応方針】

- どういう職員研修をしているのかという指摘も受けています。研修で職員全員が同じ目線になるようにしていきたいと思えます。

【市長 閉会のあいさつ】

大勢の方のご参加をいただき、長時間に渡ってご協議をいただき、また貴重なご意見をいただきまして重ねてお礼を申し上げます。ご要望いただきました都市基盤の整備につきましては、現地を確認して早急に対応させていただきたいと思えます。また、個別のご意見もあつたかと思えます。限られた時間のなかで、発言をされなかつた方も大勢おられるかと思えます。お手数をおかけしますが、どうしても伝えたいということがありましたら、今日で終わらせることなく、市役所に起こしていただき、ご意見とご要望をいただければ幸いと思えます。

いずれにしても、まちづくりはみなさんが参加をいただいて、みなさんの生活を守っていくということが中心になってきますので、意見の遠慮がないように発言をしていただきますようによくお願いいたします。また、行政運営においては、みなさんのご協力をいただくこととなります。引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。出席いただいたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
70歳以上	男性	○滝川-富良野間のJR貨物がマイナス1億円程度との説明がありましたが、富良野地方の農産物の輸送にとっては重要です。この辺をもう少し具体的に説明して欲しい。
70歳以上	男性	○話の進め方に問題があると感じた。テーマに沿った話し合いになるようにして欲しい。
50-59歳	男性	○国、道、市ともにJRを残すことしか考えていない。JRをなくすことで、富良野バス、運送業者が収支に問題なく運行できるのでは。 ○JRは赤字路線も黒字路線も含めてバスやトラックに転換した場合、運転手の雇用が増えて収支も黒字になれるのでは。